

学校名

長野県諏訪実業高等学校

平成30年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

—「文化ビジネスエキスパート」育成プロジェクト—

地域の魅力や日本の感性をビジネスにつなげ、世界に発信し地域を創造する人材育成プログラムの研究

2. 研究の目的

「文化ビジネス」は、伝統的文化や伝統的産業の「価値」を再発見し、文化的要素とビジネス的要素のバランスをとりながら、現代社会に受け入れられる商品・サービス・企画等にして、ビジネスとして成立させることである。諏訪地方は、御柱をはじめとする伝統的文化が数多くあり、古くから観光地として発展してきた。また、精密機械等をはじめとする高い技術力や伝統的手法をもつ産業も多い。しかし、現在は観光産業にも陰りが見え、中小企業が多い伝統的産業も衰退が懸念されている。そこで、「文化ビジネス」の手法により、主体的に地域の課題を発見し、地域と協働して解決に取り組み、グローバルに発信することができる「文化ビジネスエキスパート」としての資質・能力を伸ばさせることにより、地域に貢献し、地域を創造する人材を育成することを目的とする。

【「文化ビジネスエキスパート」に求められる資質・能力】

・「文化ビジネスコーディネーター」

商業と服飾の知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解し、伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みに気づき、それらを結びつける具体的な方策を提案することができる。

(身に付ける力)

ア 諏訪地域の伝統的文化・伝統的産業および文化ビジネスに関する知識。

イ 多様な社会や文化に関心を持ち貢献しようとする態度。

ウ 何が課題かを発見し明確にすることができる力。

・「文化ビジネスディベロッパー」

商業と服飾の知識と技術を備え、ビジネスと生活産業の視点から、地域の伝統的文化や伝統的産業がもつさまざまな「価値」を取り入れた商品・サービス・企画等を開発し、新たなビジネスを創造し提供することができる。

(身に付ける力)

- ア 人と新たな関係を築き、良好な関係を保つ力。
- イ 新たな価値を創造する力
- ウ 相手意識・目的意識を持って、意見や気持ちを伝えあう力。

・「文化ビジネスプロデューサー」

商業と服飾の知識と技術を備え、少子高齢化やグローバル化などをはじめとする地域の課題を見だし、その解決に向けて、コミュニケーション力を活かしコンセプトを提案し、地域産業や地域社会と協働して、主体的に取り組むことができる。

(身に付ける力)

- ア 力を合わせて協働的に取り組み、自己の立場や役割を認識して行動する力。
- イ 視点を変えて考え、柔軟性を持って表現する力。
- ウ 解決策を立てて、説得力を持って表現する力。

3. 実施期間

契約日から平成31年3月15日まで

4. 当該年度における実施計画

(1) 「文化ビジネス」と伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解（1年）

諏訪地域を中心とした伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解するため、商業科・会計情報科の原則履修科目である「ビジネス基礎」と服飾科の原則履修科目である「生活産業基礎」、共通教科地理歴史科の科目である「地理A」に、新たな項目として「伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解」を追加する。商業科・会計情報科の生徒は、産業界の強みと伝統的文化の価値を理解することで、商品開発やマーケティングの知識・技術が深化し、服飾科の生徒は、ビジネスと伝統的文化の価値を理解し、デザインの感性だけでなくビジネスとして成立する被服製作を行うことで、商品の価値を高める創造力が深化する。

① 諏訪地域を中心とした伝統的文化や伝統的産業に関わる産業人や文化人に、文化や産業の現状・取り組みについて講義を受け、伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解する。（「ビジネス基礎」「生活産業基礎」「地理A」で対応）

ア 諏訪地方の文化と商品についての現状を学ぶ。（1時間）

講義「諏訪の文化と商品開発」 講師 スワデザイナーズユニオン 平林善雄氏

イ 諏訪の伝統的文化を学ぶ。（1時間）

講義「諏訪の信仰と諏訪大祭 御柱の歴史」 講師 八剣神社 宮司 宮坂清氏

ウ 諏訪地方の心を学ぶ。（1時間）

講義「諏訪伝統のおもてなし」 講師 RAKO華乃井ホテル 社長 白鳥和美氏

エ 地域商品の開発を学ぶ。（2時間）

講義「地域商品の開発」 講師 松本大学 白戸 洋氏

オ 地域商店街の現状を学ぶ。（1時間）

講義「上諏訪駅前商店街の歴史と活性化への取り組み」 講師 いずみ屋店主 宮坂友子氏

- ② 先駆的な取り組みである、京都の伝統文化と伝統産業の魅力に新たな付加価値を持たせた同志社大学大学院ビジネス研究科 村山裕三教授の「京都型ビジネス」について講義を受け、「文化ビジネス」の取り組み方法を学ぶ。(地理Aで対応)
- ・副教材として、村山裕三教授著『京都型ビジネス 独創と継続の経営術』を使用し、諏訪地方の伝統的文化や伝統的産業から文化的要素とビジネス的要素のバランスをとりながら「文化ビジネス」を構築する手法について知識の深化を図る。
- ③ 本校主催の「諏訪実ミニメッセ」を開催し、地元企業20数社に参加を依頼し、地域産業の強みと新たな取り組みについて製品展示と説明を受け、製品製作等の体験を行い、地域産業の理解を深める。(「ビジネス基礎」「生活産業基礎」で対応)
- ④ 講演会によって理解したことをグループで討議し、成果をパネル展示等で発表することによって、思考力・表現力を身に付ける。

(2) 「文化ビジネス」への取り組み(2年)

① 学校設定教科「文化ビジネス」学校設定科目「文化ビジネス研究」

学校設定教科「文化ビジネス」は、商業科と会計情報科と服飾科の共通履修とし、1年次に学習した「伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解」と同志社大学大学院村山裕三教授から学んだ「文化ビジネス」の取り組み方法の知識を活かし、「文化ビジネスエキスパート」として、諏訪の伝統的文化や伝統的産業から現代社会に受け入れられる商品・サービス・企画等を「文化ビジネス」として開発・提供し、発信することを目指し、生徒自身が主体的に取り組み、コミュニケーション能力、企画・実行する力を身に付ける。学校設定科目「文化ビジネス研究」内の講座は、専門性の深化を図りながら「文化ビジネス」に取り組む講座を設置する。

ア 学校設定教科「文化ビジネス」学校設定科目「文化ビジネス研究」の目標と資質・能力

【目標】

「文化ビジネスエキスパート」として、伝統的文化の「感性」としての価値や伝統的産業の強みを理解し、少子化やグローバル化などにともなう課題を主体的に発見し、伝統的産業や地域社会の振興に協働的に取り組み、文化的要素とビジネス的要素のバランスをとりながら「文化ビジネス」として発信できる力を育成する。

【資質・能力】

- (ア) 商業と服飾の知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解し、伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける具体的な方策を提案できる。
- (イ) 商業と服飾の知識と技術を備え、ビジネスと生活産業の視点から、地域の伝統的文化や伝統的産業の「感性」としての価値を取り入れた商品・サービス・企画等を開発し、新たなビジネスを創造し提供することができる。
- (ウ) 商業と服飾の知識と技術を備え、少子高齢化やグローバル化などをはじめとする地域の課題解決に向け、コミュニケーション力を活かしてコンセプトを提案し、地域産業や地域社会と協働して、地域の再構築に主体的に取り組むことができる。

イ 学校設定教科「文化ビジネス」基本講座

学校設定科目「文化ビジネス研究」には以下の講座を設置する。

【講座1】 「商品開発とイベント企画」 (商業科・会計情報科・服飾科の共通講座)

実施内容

地域の産業界や団体と連携し、地域の歴史や現状の把握から地域の魅力を発信できる商品・イベントの企画開発を行い、その成果をビジネスコンテスト等にも応募し、地域はもとより国内外に発信することで、地域文化を活かしたビジネスを開発できる人材を育成し、主として文化ビジネスディベロッパーとして商品・サービス・企画等を開発する資質・能力を育てる。

【講座2】 「ICTを活用したプロモーション戦略」 (商業科・会計情報科の講座)

実施内容

「伝統的文化」「地域産業」「地域の観光地」をコンテンツとして紹介するホームページを作成し、「文化ビジネス」の情報を効果的に発信できる人材を育成し、主として文化ビジネスコーディネーターとして伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける資質・能力を育てる。

【講座3】 「伝統産業を現代に生かした魅力ある商品の開発」

(商業科・会計情報科・服飾科の共通講座)

実施内容①

岡谷の生糸(シルク)について学び、特徴的な素材である玉繭を用いてお守りを作成・販売する。平成29年度に生活産業基礎(2年)の授業で実施した、お守りの試作によって得られた経験をもとに、より魅力的かつ商品化できるクオリティのお守りの作製をめざす。この活動を通じて、地域を理解し、地域の良さを魅力的な商品として形にし、発信することのできる人材を育成する。

実施内容②

岡谷の生糸(シルク)について学び、そのシルクを用いて上諏訪温泉の旅館の従業員が身につけるスカーフを作成し、商品化する。この活動を通じて、「それを身につける人」と「客」、「雇用者」からのニーズの把握、制服とのマッチング等、多角的な視点から魅力ある商品を開発することのできる人材を育てる。

実施内容①②共通

身体に手術跡があるような方が、安心して上諏訪温泉を利用できるよう、湯あみ着の開発を行う。この活動を通じて、社会問題に目を向け問題を解決する姿勢や、様々な立場、考え方を認識し受け入れ、共に前向きに生きる事の素晴らしさを学ぶことをめざす。

主として文化ビジネスディベロッパーとして商品・サービス・企画等を開発する資質・能力を育てる。

【講座4】 「諏訪地域の企業パンフレットの作成」 (商業科・会計情報科・服飾科の共通講座)

実施内容

諏訪地域の企業パンフレット作成を通して、地域の魅力を発信することができる人材を育成し、主として文化ビジネスコーディネーターとして伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける資質・能力を育てる。

【講座5】 「諏訪地域の紹介ビデオ作製」 (商業科・会計情報科・服飾科の共通講座)

実施予定

諏訪地域の紹介ビデオ作製を通して、地域の魅力を発信することができる人材を育成し、主として文化ビジネスコーディネーターとして伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける資質・能力を育てる。

【講座6】 「諏訪観光マップ作製」（商業科・会計情報科・服飾科の共通講座）

実施予定

諏訪市経済部商工課・観光課と連携を図り、諏訪地域の観光マップ作製を通して、地域の魅力を発信することができる人材を育成し、主として文化ビジネスコーディネーターとして伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける資質・能力を育てる。

② 京都型文化ビジネス研修

1年次の、同志社大学大学院村山裕三教授の「京都型ビジネス」の講義をより深化させるために、商業科・会計情報科・服飾科の代表者が、同志社大学大学院をはじめとする京都視察研修を実施する。京都視察研修では、「京都型ビジネス」に実際に取り組んでいる産業人講師の講義、「文化ビジネス」の効率的な体験、「京都型ビジネス」の企業を視察する。視察後、講義内容と体験事項、視察事項のプレゼンテーションを行い、学年全体で共有し、諏訪地域に合った文化ビジネスのあり方を提案する。

③ 文化ビジネス研究の成果発表

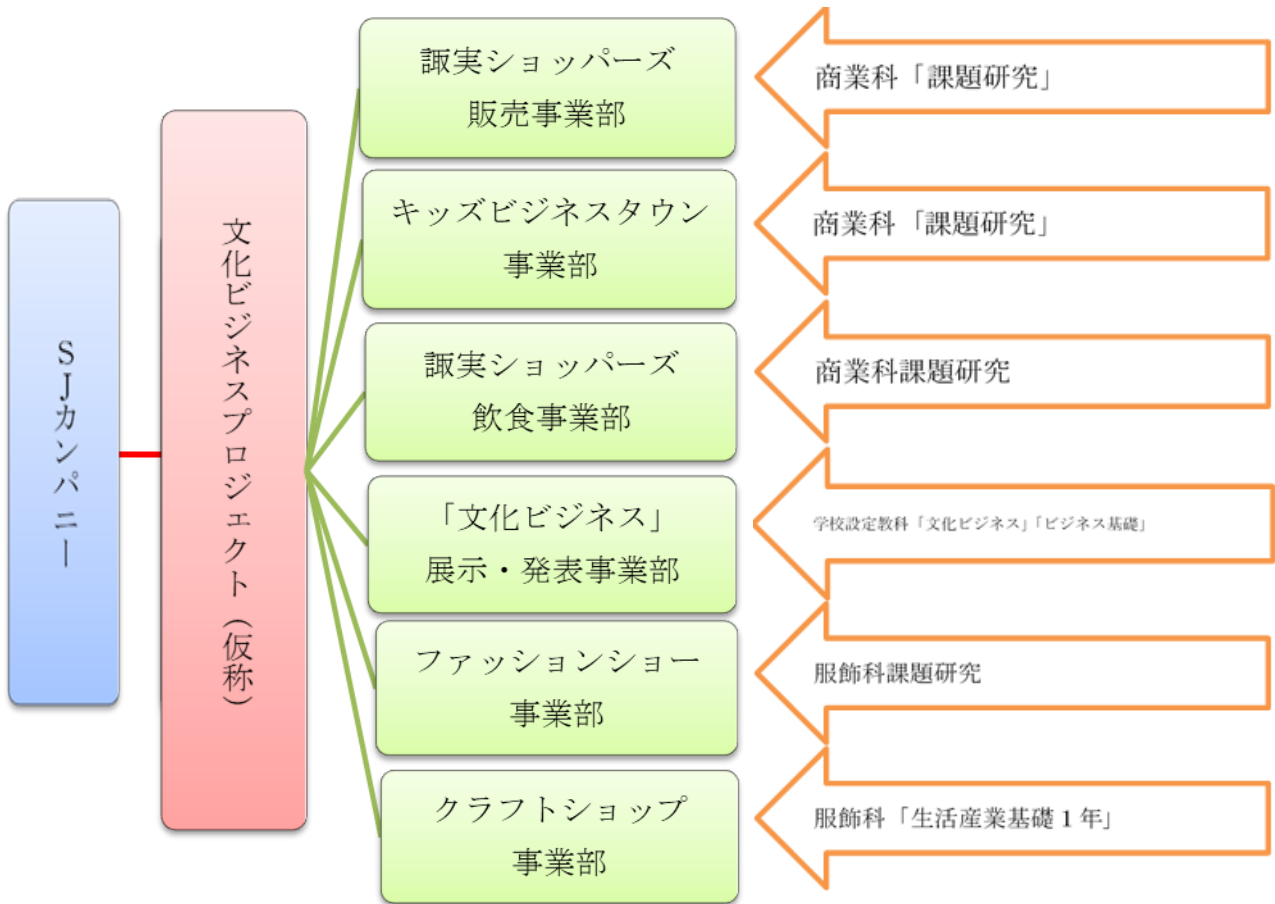
科目「文化ビジネス研究」で研究した成果を諏実タウンにおいて発表し、地域の方々にも諏訪地域の伝統文化・産業を知ってもらおうとともに、新たな文化ビジネスのあり方を提案する場とする。

(3) 「文化ビジネスエキスパート」として、「文化ビジネス」のプロデュース（3年）

① 「文化ビジネスプロジェクト」の設立

3年次では、2年次に取り組んだ「文化ビジネス」の中で、評価が高く、実現可能な企画・商品・イベント等は、3年次の課題研究等の科目内で、実現に向けて、企業、自治体、地域と交渉して、実現に向け取り組みを行う。また、「模擬株式会社S Jカンパニー」では、商業科・会計情報科・服飾科が共同してイベントを実施する「諏実タウン」において、商業科・会計情報科・服飾科の各授業で取り扱った「文化ビジネス」の内容について、販売、展示、プレゼンテーション等を行うことによって文化ビジネスプロデューサーとしての資質・能力であるコミュニケーション能力、協調性、積極性、創造性を身に付ける。

図① (S Jカンパニーの組織図)



② 韓国視察研修

「文化ビジネス」をグローバルに展開するため、本校生徒・職員による韓国梅香女子情報高等学校の視察および交流を行う。平成28年度に本校と梅香女子情報高等学校は姉妹校提携を結んでおり、距離や費用面からも密接な連携が可能である。伝統的文化が現代社会に色濃く残る韓国社会を体験し、文化と習慣の類似性と相違性の両面を肌で感じることにより、「文化ビジネス」を実践的に学ぶ機会とする。また、韓国は英語を母国語としない国であり、英語でのコミュニケーションの垣根も比較的 low、ビジネス英語によるコミュニケーション力の向上にも取り組む。梅香女子情報高等学校では、ホームステイを実施する。帰国後、体験・習得した事項を3学年全体で共有するため、プレゼンテーションを行うとともに、「文化ビジネスプロジェクト」の「誼実ショップパース」「キッズビジネスタウンすわ」「学習成果発表会」に応用する。

(4) 専門科目内での取組

「文化ビジネスプロジェクト」の各事業部の企画に対応するため、服飾科・商業科・会計情報科の専門科目内で以下の取り組みを行う。

ア「課題研究」服飾科

S P Hの取り組みであるファッションショーや学習成果発表会における効果的発進力と演出力の向上を目指す

- ・演習「ウォーキング講習会」 講師 b e ウォーキングスタジオ 齋藤義人氏

イ「ファッションデザイン」

伝統的価値や地域の文化産業をソースにデザインする力の向上を目指す

- ・演習「色彩検定対策講座」 講師 AFT認定講師 河合由夏氏
- ・視察 岡学園トータルデザインアカデミー学生制作作品展見学
- ・視察 「NAGANOデザインフェスタ」

ウ「服飾文化」

和洋の服飾の歴史を学び、伝統を現代に生かす力を身につける。

- ・演習「服飾文化論及びコルセットの試着」 講師 京都服飾文化研究財団 筒井尚子氏

エ ファッションデザインコンクール

「ファッションデザイン（1年）」「服飾文化（2年）」「ファッションデザイン応用（3年）」
「マーケティング（商業科3年）」

- ・学年を超えてファッションデザインを学びあい、その能力を研鑽することを目的として行っているファッションデザインコンクールの題材を、「上諏訪温泉のホテルの制服」とする。この題材に対するニーズを多角的に捉え、分析する過程を商業科の生徒が行うことによって、学科間の連携を図る。

オ「マーケティング」

（ア）諏訪地域の特性を活かした匂い袋の開発

- ・諏訪地域のニーズ・課題から地域の特徴を活かした商品開発ができないかと検討を重ねてきた結果、諏訪のカリンを使用することにした。カリンは食用での利用はあまり広まっていないため、その利用法を話し合った結果、匂い袋の開発を行うことになった。今年度は、製品化するために匂い袋の開発を商業の生徒がおこない、袋の製造を服飾の生徒がおこなうことによって学科間の連携を実施する。

カ「電子商取引」

（ア）情報通信ネットワークを活用した情報発信

- ・諏訪や長野県内各地の伝統的文化や伝統的産業、またその魅力について調査し、深く理解させ、ニーズや課題を知ったうえでホームページの作成を通じて広く発信する。また、服飾科で調査・研究した内容についても発信していくことによって、より深く多面的に諏訪地域を理解するように努める。

（イ）ウェブコンテンツを活用した観光・文化プロモーション

- ・諏訪地域の公知されていない観光地や文化等について、観光客やホームページの閲覧者に対して諏訪の魅力を発信するコンテンツを作成する。

（5）教員の専門性の強化

- ・商業科・会計情報科と服飾科の教員の専門性の向上を図るため、連携先の松本大学での「マーケティング塾」に商業科・会計情報科・服飾科の複数の教員が参加し、同志社大学大学院の講義、京都型ビジネスの視察を商業科・会計情報科・服飾科の複数の教員で実施し、生徒の能力開発を相乗的に伸ばさせる。
- ・本事業推進のために有効性のあるパフォーマンス評価を実施するうえで、本校の教員が評価する能力をより深化させるために、京都大学大学院教育学研究科福嶋祐貴氏から本校職員が実際に指導した授業の評価方法について助言をもらい、評価について検討する。

(6) S P Hプログラムにおける評価方法

- ・講演等の実施前と実施後に実施するアンケート方法を工夫し、生徒の思考の変化等から事業の効果を測定する。(定性的評価)
- ・広く一般に公開する「文化ビジネスプロジェクト」において、外部関係者にアンケートを実施し、生徒の意識の変化等から事業の効果を測定する。(定性的評価)
- ・本事業を各教科の項目として扱うため、定性的評価だけではなく、パフォーマンス評価とポートフォリオ評価を導入する。パフォーマンス課題を設定できる授業についてはパフォーマンス評価を取り入れ、本事業に合致した評価項目の策定を進めていく。同一学年は、定量的評価が平均するよう評価項目を策定する。パフォーマンス評価実施後、担当教員内で評価項目について再検討する。評価項目の再検討をする事により、各事業の細部まで具体的・徹底的に見直し、事業内容をデザインし直していくことで、P D C Aサイクルによるカリキュラムマネジメントを行う。また、日誌・報告書等によって、ポートフォリオから生徒の思考力・判断力の成長を計り、事業の効果を測定する。(定量的評価)

(7) 研究成果の普及

ア 諏訪湖サミット(仮称)の開催

(ア) 目的

県内唯一のS P H指定校として、全国の商業科・家庭科・工業科・農業科のS P H指定校を2校ずつ招き、その先進的な取り組みを紹介する場を設定し、各科独自の主体的、対話的、探求的な深い学びに取り組みについて学ぶとともに、県内の各校がS P H指定に向けより積極的に取り組むきっかけを提供することを目的とする。

(イ) 実施方法

・プレゼンテーション

プレゼンテーションについては、諏訪実業高校は生徒が発表する予定であるが、各指定校には、原則教員のプレゼンテーションでお願いする。希望があれば生徒のプレゼンテーションでも可とする。

・パネルディスカッション

各指定校のS P H担当教員によるパネルディスカッション。

内容 ・S P H導入のきっかけ

・S P H導入による生徒の変化

・S P H展開の上での問題点

・S P H終了後の取り組みについて

・S P H取り組みによる外部評価の変化

・質疑応答

(ウ) 参加者

県内商業・農業・工業の専門科教員と家庭科教員。

イ 県教育委員会主催の研修会、諏訪実業高等学校で開催する研究成果発表会、その他に全国規模での研修会、北信越地区での研究大会等において、取組の成果を発表し、研究成果の普及に

努める。

5. 実施体制

(1) 研究担当者

氏 名	職 名	役割分担・担当教科
薄井 康央	校 長	全体統括・対外連絡・折衝
有賀 浩	教 頭	対外連絡・折衝・委員会設置運営・高大連携・海外高校連携
小平 紀文	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・高大連携・商業
三宅 浩一	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・海外高校連携・文化ビジネス 発表会・商業
吉岡 和久	教 諭 (商業科主任)	諏実タウン・文化ビジネス研究・学校設定教科・学習評価・広 報・商業
中澤 深二	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・京都研修・文化ビジネス発表 会・商業
藤森 宏史	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・商業
浅見 大輔	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・諏訪実ミニメッセ・商業
松田 健一	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・海外高校連携・文化ビジネス 発表会・商業
目須田威彦	教 諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・商業
磯谷 幸子	実習教諭	諏実タウン・文化ビジネス研究・商業
笠井 昭宏	講 師	諏実タウン・文化ビジネス研究・商業
倉田 愛美	講 師	諏実タウン・文化ビジネス研究・文化ビジネス講演会・商業
滝澤 知規	講 師	諏実タウン・文化ビジネス研究・商業
本道 由幸	講 師	諏実タウン・文化ビジネス研究・商業
横井秀太郎	教 諭 (服飾科主任)	諏訪市ものづくり教育・「ともそだち教室」・ファッションシ ョー・家庭
五味 仁美	教 諭	ファッションショー・NAGANOデザインフェスタ担当・学 校設定教科担当・家庭
山田 佐江	教 諭	ファッションデザインコンクール・ファッションショー・家庭
小川 淳子	教 諭	ファッションショー・ファッションデザインコンクール・クラ フトスタジオ・学校設定教科担当・家庭
唐澤美沙紀	教 諭	学校設定教科・ファッションショー・クラフトスタジオ・家庭
有賀 弘子	講 師	ファッションショー・家庭

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
大舘 道彦	諏訪市経済部長	指導・助言
小口 武男	高島産業(株)代表取締役社長	指導・助言
村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科教授	指導・助言
白戸 洋	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授	指導・助言
奥原 正夫	諏訪東京理科大学工学部情報応用工学科兼経営情報学部経営情報学科教授	指導・助言
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー校長	指導・助言
薄井 康央	諏訪実業高等学校長	全体統括
有賀 浩	諏訪実業高等学校教頭	対外折衝・校内調整
吉岡 和久	諏訪実業高等学校教諭 (S P H推進主任)	対外折衝・校内調整
横井秀太郎	諏訪実業高等学校教諭 (服飾科主任)	服飾科教育課程
小川 淳子	諏訪実業高等学校教諭 (服飾科)	服飾科教育課程
奥村 達朗	諏訪実業高等学校教諭 (学習係・教育課程委員)	普通教科代表・普通教科の調整

(3) 運営指導委員会

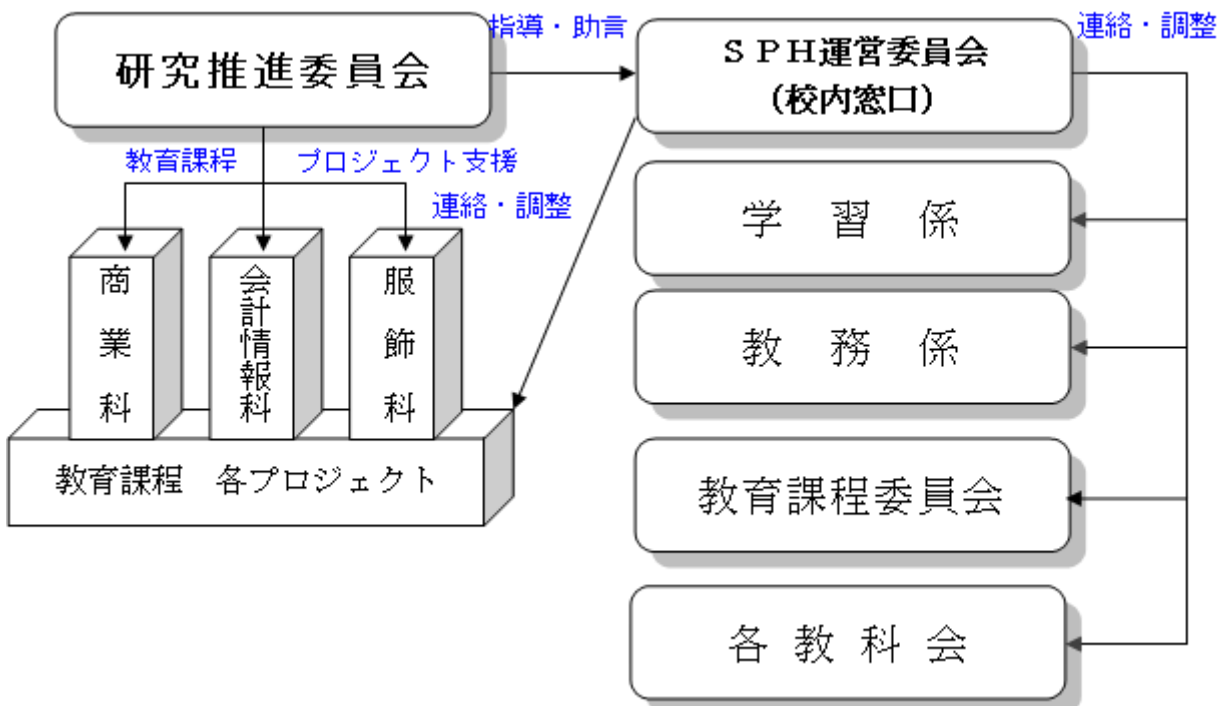
氏名	職名	役割分担・専門分野等
山浦 悦子	ハイブリッド・ジャパン株式会社 代表取締役	地域産業・ものづくり経営に係る指導・助言
藤田 智之	信州大学 農学部長	農業、工業、商業分野の研究設定の在り方、農学研究
山添 昌彦	松本大学松商短期大学部 商学科長・教授	農業、工業、商業分野の研究設定の在り方、経営学、地域学。P B L研究
竹内 一記	諏訪信用金庫 人事部人事課課長代理	経営、景気動向、地域連携
宮入千恵子	長野県立歴史館 文献史料課 特別嘱託員	家庭分野の研究設定の在り方、高等学校の教育

(4) 校内SPH運営委員会

氏 名	職 名	役割分担・担当教科
薄井 康央	校 長	SPH運営委員
有賀 浩	教 頭	SPH運営委員
吉沢 規至	教 頭 (定時制)	SPH運営委員
吉岡 和久	教 諭	SPH運営委員・SPH推進主任・商業 (主任)
笠井 昭宏	講 師	SPH運営委員・商業
横井秀太郎	教 諭	SPH運営委員・家庭 (主任)
小川 淳子	教 諭	SPH運営委員・家庭
奥村 達朗	教 諭	SPH運営委員・英語
阿部 秀幸	教 諭	SPH運営委員・理科
市川 浩	事務長	SPH運営委員
百瀬 信二	事務長補佐	SPH運営委員

※ 校内SPH運営委員会を定期的に開くことによって、各教科に決定事項を速やかに伝達する。

(5) 校内における体制図



6. 研究内容別実施時期

研究内容	実施時期									
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解 「ビジネス基礎」 「生活産業基礎」 「地理A」		講義「京都型ビジネス」 講義「上諏訪駅前商店街の歴史と活性化への取り組み」	講義「諏訪の信仰と伝統」 講義「諏訪の産業とデザイン」	「諏訪実ミニメッセ」	講義「地域商品開発」 講義「諏訪の観光産業とおもてなし」	講義のまとめ プレゼンテーション資料作成指導 諏実タウンにおいて「伝統的文化や伝統的産業の魅力」の発表		S P H 成果報告会		
「文化ビジネス」への取り組み 科目「文化ビジネス研究」	ワールド ワーク	ワールド ワーク	中間報告	ワールド ワーク	発表資料作成	諏実タウンにおいて文化ビジネスの発表		S P H 成果報告会		
「文化ビジネス」への取り組み 「ファッション造形」								視察駒ヶ根シルクミュージアム ・久保田織染 日暮里織維街リサーチ		演習「浴衣着付け講習会」 N A G A N O デザインフェスタ
「文化ビジネス」への取り組み			京都視察							
「文化ビジネス」のプロデュース 商業科・会計情報科「課題研究」	諏実タウン の企画	諏実タウン の企画	韓国視察	諏実タウン の企画	諏実タウン の企画			まとめ	S P H 成果報告会	課題研究発表会 学習成果発表会への展示
「文化ビジネス」のプロデュース 服飾科「課題研究」	演習「ウォーキング講習会」		韓国視察	ファッションショー					S P H 成果報告会	
文化ビジネスプロジェクトの専門家の取り組み 服飾「服飾文化」						京都服飾文化研究財団講習会	演習「色彩検定対策講座」			
「文化ビジネス」のプロデュース 会計情報科「マーケティング」	匂い袋の商品開発	匂い袋の商品開発	匂い袋の商品開発	匂い袋の商品開発	匂い袋の商品開発	匂い袋の商品開発				
「文化ビジネス」のプロデュース 商業科・会計情報科「電子商取引」	地域紹介のWebページ作成	地域紹介のWebページ作成	地域紹介のWebページ作成	地域紹介のWebページ作成	地域紹介のWebページ作成	地域紹介のWebページ作成				
「文化ビジネス」のプロデュース 服飾科	お守りの商品開発	お守りの商品開発	お守りの商品開発	お守りの商品開発	お守りの商品開発	お守りの商品開発	諏実タウンにおいて販売		学習成果発表会での展示	

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし				

8. 知的財産権の帰属

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・無

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載